

・遠足は子供達が行きたい場合を考え、決め、遠方でも実施し、友だちと一緒に考えひとつのことを成し遂げる達成感や自主性、そして心から楽しいと感じられる気持ちを大切にしている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年6月15日（契約日）～ 令和4年4月26日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	- 回（ 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1) 保育理念にもとづき子どもの成長を支援する保育を展開しています

園では、保育理念にある「居心地が良く、情緒の安定が図れる環境作り」の中で、「本物の優しさや包容力を備えた人間への成長」を多彩な活動を通して支援しています。保育室は明るく、生活と遊びの場としてふさわしい環境を備えています。遊びの空間、食事の空間、午睡の空間をそれぞれ工夫して確保しています。子どもの自主性、自発性を大事にしており、遊びのルールを子どもの話し合いで決めたり、どこに遠足に行くか子どもに考えてもらっています。毎日自然豊かな近隣の公園に散歩に行き、自然との触れあいの中で子どもの五感を刺激しています。保育を展開する保育士は、職員間のコミュニケーションを大事にして子どもの成長を支えています。

2) 子どもがおいしい食事を楽しく食べられるように支援をしています

保育理念や全体的な計画にもとづき、「食育カリキュラム」を作成し食育への取組を進めています。活動の場と食事の場は分けて設定し、落ち着いて食事をとれるようにしています。苦手な食事があるときには、「あと一口頑張ろうか」、「残してもいいんだよ」と声かけをして子どものペースを尊重して、時間がかかっても完食できるように支援をしています。三色食品群の話を、子どもにも分かりやすい絵を使いながら栄養士が説明しています。食品に三色の色をつけるぬり絵で、楽しく食品に対する知識を得られような取組をしています。クッキングの時間があり、蒸しパンやピザを作って食への関心を深める取組もしています。

3) 円滑なコミュニケーションにより、保育が行われています

日頃から職員間で円滑なコミュニケーションがとれており、協力し合いながら保育が行われています。子どもについての情報も職員間で共有されています。担当以外のクラスの子どもの様子などについても共通認識が図られており、職員はすべての子どもの様子が把握できています。職員のコミュニケーションの良さが、園全体で子どもたちを見守る体制につながっています。

◇改善を求められる点

1) 家庭との情報共有への取組

登降園時のコミュニケーション、連絡帳、園だよりなどで、保育内容等について家庭との情報共有を図っています。コロナ禍の影響により、懇談会の中止や行事への保護者参加を制限せざるを得ませんでした。また、運営委員会は持ち回りでの委員会を開催するなど工夫をしていますが、各種情報が家庭まで十分に届いていない状況が見受けられます。情報提供を工夫し、家庭との連携が期待されます。

2)利用者満足の向上につながる相談体制の構築

利用者満足を把握する仕組みが整備されておらず、定期的な満足状況の把握がされていません。保護者会はなく、保護者からの相談や意見への対応が不十分と感じている保護者も見受けられます。園の理念や基本方針の周知、苦情などを第三者委員に相談できることも保護者の認識は低い状況です。園の思いを伝え、相談に対応する体制を整えて保護者に満足してもらえるような体制の検討が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、第三者評価を受審し、本園の保育・運営に関わる様々な課題を知ることができました。

そして、本園の強みと改善点を全職員で共有し、様々な角度から話し合い検討できたことは、更なる園の環境作り、子育て支援の向上に繋がったものと確信しております。

今後もリトルスカラー妙蓮寺保育園が目標としている「居心地が良く、情緒の安定が図れる環境保育」の実践に職員一同で努めてまいりたいと思います。

最後に第三者評価機関の方々のご丁寧な助言、ご相談にのっていただいたこと、また保護者の皆様にはお忙しい中、アンケートにご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

リトルスカラー妙蓮寺保育園

園長 石井奈央

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり